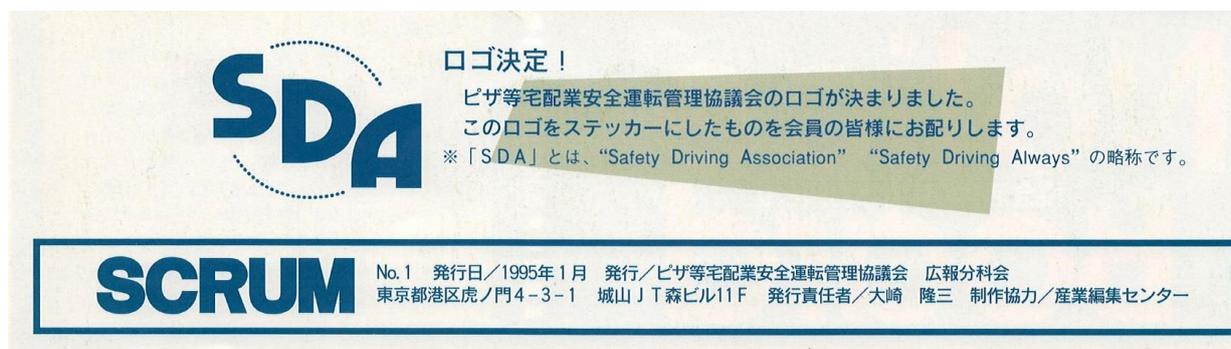


SDA 活動の回顧と今後の展望

1. 略語「SDA」の原語

SDA 生みの親で、評議員のアーネスト・エム・比嘉氏がこの名称とロゴマークを考案されました。原語については、機関誌 SCRUM 第 1 号(1995 年 1 月発行)の裏表紙に明記されており、“Safety Driving Association”と“Safety Driving Always”の二つの意味があります。



2. SDA 設立の経緯

昭和 60(1985)年、㈱ワイ・ヒガコーポレーション(平成 6 年に㈱ヒガ・インダストリーズと改称)の比嘉社長が、日本初の宅配ピザ店「ドミノ・ピザ恵比寿店」を開かれました。米国では四輪車で配達していましたが、比嘉氏は日本の道路事情を勘案して宅配には原付が最適であると判断され、当時売り出されたばかりの「ホンダ・ジャイロ・キャンピー」を採用されました。

その後、追従業者が増えてバイクの交通事故や速度超過が問題となり、比嘉氏は平成 3(1991)年ころから、自社だけでなく業界全体で安全管理に取り組むための組織作りの必要性を感じられ、同業各社と調整した末、発起人 9 名によって平成 5(1993)年 9 月 22 日、任意団体「ピザ等宅配業安全運転管理協議会」(設立趣意書の名称は「ピザ等宅配業交通安全管理協議会」)が設立されました。

3. 会長、理事長及び副理事長

創設以来、SDA は㈱ヒガ・インダストリーズの社内に置かれ、ほとんどの経費は同社が負担しました。理事長は比嘉氏が務められましたが、平成 13(2001)年 5 月に SDA が同社から独立することになり、同年 9 月 7 日の臨時総会において、比嘉氏が新規に設けられた会長に、副理事長の浅野氏が理事長に、理事の宮下氏が副理事長に、それぞれ就任されました。

その後、平成 22(2010)年 3 月 10 日にドミノ・ピザの営業権がすべて米国ペインキャピタル, L.L.C. に移り、比嘉氏は同年 3 月 16 日の総括理事会において理事及び会長を退かれ、会長職は現在空席となっています。なお、比嘉氏は同理事会において、学識経験者として評議員に選任されました。

4. その後の発展と名称の変更

その後、中華料理、弁当、寿司、カレー、酒類、書類等を原付等で配達する会社の加入を得て、平成 14(2002)年 6 月 12 日、現在の「全日本デリバリー業安全運転協議会」に名称が変更されました。名称に「全日本」が冠されたのは浅野理事長の御発案であり、実に画期的なことでした。事務所は、平成 14 年 2 月 11 日、岩本町から現在の神田神保町に移転しました。

5. 主な事業実績

(1) 店長、店舗管理者のための安全運転マニュアル

H6.8.29 初版、H15.5.2 第 3 版、H21.1.20 第 4 版、H25.3.31 第 5 版が発行されています。
本年度は㈱ワイズテーブルコーポレーションさんから 2 冊の注文があったほか、会員さんではありませんが、㈱ティーオーティーさんから 5 冊の注文がありました。

(2) 宅配従業員(ドライバー)各自が携行する安全運転マニュアル

H10.7 初版、H16.11 第 2 版、H30.4 第 2 版 2 刷が発行されています。
本年度は㈱ワイズテーブルコーポレーションさんから 300 冊の注文があったほか、㈱ティーオーティーさんから 30 冊の注文がありました。

(3) 機関誌「SCRUM」の発行

今年度も 2 月下旬に発行します。例年通り PDF 版も発行します。

(4) 店長等管理者を対象とした座学講習会の開催

平成 6 年度に開始しました。出席者の最多記録は平成 19 年度の 741 名でしたが、現在は出席者が非常に少なく、定例会議の冒頭に 30 分間以下の講話を頂くことが多くなっています。

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実施回数	12	6	3	1	2	3	4	4	2	1
参加人数	452	307	114	58	84	83	72	60	27	15

(5) 宅配ドライバー対象の安全運転実技講習会の開催

平成 6 年度から開始しました。12/12(土)、2/13(土)、3/13(土)に目黒署・(一社)日本二輪車普及安全協会指導の講習会がありますが、今年度は COVID-19 感染拡大の影響もあり、参加者合計が 100 名を割り過去最少となる見込みです。因みに最多記録は平成 15 年度の 1,676 名でした(下表には 12/12(土)に参加した 3 名を含んでいます)。

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実施回数	37	43	36	30	31	29	22	26	11	6
参加人数	982	863	718	418	508	370	277	296	113	81

今年度は、㈱エー・ピーカンパニーさんが 13 名、㈱サンライズサービスさんが 12 名、㈱ストロベリーコーンズさんが 5 名、㈱出前館さんが 1 名、㈱デルソーレさんが 1 名、日本ピザハット(㈱)さんが 17 名、㈱ピーシーエスさんが 7 名、㈱フォーシーズさんが 5 名、ポケットフーズ(㈱)さんが 10 名、㈱ライドオンエクスプレスホールディングさんが 4 名、㈱ワイズテーブルコーポレーションさんが 6 名参加されています。

(6) 安全運転競技大会の開催

東京大会 : 平成 16 年度に開始しました。11/25(水)に第 17 回大会を開催しました。

全国大会 : 平成 10 年度～22 年度は鈴鹿市、平成 23 年度から、ひたちなか市で開催しています。本年度は 9/5(土)開催の予定でしたが、COVID-19 の感染拡大で中止しました。

参加選手数は両大会とも伸び悩んでいます。多くの会員が参加されることを願っています。

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
全国大会	73	78	54	70	63	55	57	42	48	中止
東京大会	57	52	61	54	58	49	51	30	37	29

(7) 無事故無違反運動への参加(東京都)及び開催(46道府県)

平成 11 年度から開始されました。47 都道府県で実施するようになったのは平成 19 年度からです。達成率は徐々に向上しており、46 道府県(4 ヶ月)は 8 年連続で向上しています。また、東京都(6 ヶ月)においても 50% 台を確保しています。しかし、参加者数はやや減少傾向にあります。本年度は COVID-19 の感染拡大で配達業務が多忙となったこともあり、参加者数が 12.8% 減少しています。7/28(火)の総会で 梶野番屋さんと SDA が警視庁交通部長感謝状を受領しました。

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
参加会員数	20	20	18	18	19	16	17	15	15	14
参加人数	13,040	13,642	12,278	10,976	11,789	12,043	12,738	11,645	11,336	9,821
達成率(46 道府県)	55.8%	59.5%	60.4%	63.1%	63.2%	66.5%	69.7%	70.8%	75.3%	
達成率(東京都)	33.3%	30.3%	37.1%	37.7%	36.8%	46.7%	46.2%	51.9%	53.7%	

注: 警視庁の所轄署が行う運動(セーフティドライブコンテスト)参加者を除く。

(8) 会員会社による実務部会の開催

東京は月 1 回、大阪は期 1 回実施を基準としていますが、平成 28 年度から大阪については開催希望がなく開催していません。

(9) 社会貢献活動

事務局からお願いし、又はお聞きしているチラシの配布状況です。そのほかにもございましたら、総括理事会と総会の審議資料に記載いたしますので、お知らせ下さい。

社会貢献活動

活動内容	時 期	地 域	依頼元	依頼数量	取扱数量	補色番屋	特エール・ビー カンパニー	特カクヤス	特サンライズサービ ス	特シカゴビザ	特ストロベリー コーンズ	特ドミノ・ピザ ジャパン	日本ビザハット補	特フォーシーズ	エクストライドオン D
チラシ配布	7月~8月	東京都	警視庁交通部	12,000	12,000						5,000	2,000			5,000
	7月	東京都	警視庁成城警察署	1,000	1,000			1,000							
	7月~	神奈川県	神奈川県警察本部 生活安全部	10,000	10,000			1,000				2,000	1,000	4,000	2,000
	10月~	神奈川県	神奈川県警察本部 生活安全部	10,000	10,000	3,000	1,000		5,000	1,000					
	12月	東京都	警視庁交通部	任意	7,000						7,000				
	合 計				33,000	40,000	3,000	1,000	2,000	5,000	1,000	12,000	4,000	1,000	4,000

6. 今後の事業計画と展望

(1) 令和2年度総括理事会及び令和3年度総会・懇親会

総括理事会は3月12日(金)15:00から、総会は6月11日(金)14:30から開催します。総会後の懇親会は17:30から開催する予定ですが、COVID-19の感染状況を見ながら決定します。

(2) 安全運転競技大会

全国大会は9月4日(土)、東京大会は11月10日(水)に開催します。

(3) 無事故無違反運動

実技講習会参加者数が激減している近年、無事故無違反運動を強力に推進することにより、交通安全管理態勢の向上を目指しており、本年度は一人当たりの補助金を170円としましたが、来年度もこれを継続します。

(4) 犯罪抑止活動

今年度は事件がすでに18件(強盗2件、窃盗3件、同未遂13件)発生しており、昨年度の7件(窃盗1件、同未遂6件)を大きく上回っています。警報装置、防盜金庫、金庫底の鉄板固定などの処置を確実に実施して下さい。

また、交通安全管理だけでなく、生活安全を含めた活動を今後とも継続していきたいと思えます。

(5) 社会貢献活動

今後とも全国の警察及び団体が実施する各種活動に積極的に参加していきたいと思えます。

(6) SDA内に自転車部会を設置

総括理事会で審議していただきますが、SDA内に自転車部会を設置し、警視庁の御指導のもと、都内の非会員を含めて自転車の安全管理に関する情報交換会を開催したいと考えています。

以上